

1. The first part of the report, "Introduction", discusses the importance of the study and the objectives of the research. It also mentions the scope of the study and the limitations of the data used.

朝鮮露業政策論

要論 朝鮮露業政策論 露業政策の重要性 露業政策の現状 露業政策の将来

朝鮮露業政策論 露業政策の重要性 露業政策の現状 露業政策の将来

東支鐵の營業不振對策

目下研究中

東支鐵の營業不振對策 目下研究中

銀行大會

十月十日と決定

銀行大會 十月十日と決定

合流通告

百貨店と決定

合流通告 百貨店と決定

東拓代行決定

九月十日と決定

東拓代行決定 九月十日と決定

地下鉄陳情

釜山建設から

地下鉄陳情 釜山建設から

大豆會議決議

安東の

大豆會議決議 安東の

鐘紡への買進 諸株軒並に昂騰 愈秋相場への第一歩

合併正米市場の開始期

内地砂糖値下 朝鮮は落着き模様

秋商況 米市況

露國競賣漁區

大豆會議決議

地下鉄陳情

銀行大會

依然強調 焦付商内 新米の先約は 全米の先約は

小堀の得策

今村覺次郎

新米の先約は

全米の先約は

小堀の得策

今村覺次郎

新米の先約は

新米の初取引

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候



各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

各地天候

履歴を飾れ!!

ABCの
讀方から

[illegible]

十月新學期
會員募集

別冊五大附録
 本館所會員にのみ無料頒布
 される特製圖畫と挿絵！

- (1) 研究 英語新讀本
- (2) 英語讀本辭書
- (3) 英語力ード
- (4) 英習字手本
- (5) マイフレンド

內容見
本進呈

目丁六町見士富區町麴京東
部學信通社究研
【番五八〇三京東替振】

京報

[illegible]

學士長校を撰
新學期
九月一日開始

●施設は滿洲第一
●卒業生成績超群第一
●就職確實紹介
●免狀得る迄
習任教育



年收三千圓以上

練習車約十臺

●學則要點第一
●寄宿舍設備

大田北大山通り十四番地
日華自動車學校
電二一〇六一番

飲河研究室編
菊判總洋布
五百九十八

實用日語完璧

本書將日本一切語言悉集成俗俚無遺漏且全卷皆以華語譯出語俚
 一書。分則於商務游學旅遊考略諸大端凡一切應酬之日語無不備載
 此書。卷爲七編。日像形類。日說話類。平假名類。日間文爲類。日
 語。日會話編。日練習題譯解編。日單語編。是也

此書業經通日語之華人諸公與精通華語之日人諸公悉協同編成而校正
 爲日語多

附錄 現代日本語會話文法
 定價八拾圓
 函購九拾圓
 發賣 大坂市浪速町 藍華大邸 五五番 京誠本町 縣府京誠三二五三番
 大阪屋號書店
 附錄 日本文法精義
 定價九拾圓
 函購九拾圓

PILOT INK

高級鋼筆

Pilot

高級鋼筆

以上2000元

上海 廣東新 洋行 代銷

電話本局八八番
東京府南大門通一丁目十四番地
支店
南大門、東大門、西大門、本町
永原、大田、大塚、金山
前橋、平塚、大和町
會社
漢城銀行
白堤、永井、樹
完
支店
東京府南大門通一丁目十四番地
支店
南大門、東大門、西大門、本町
永原、大田、大塚、金山
前橋、平塚、大和町

祝朝鮮博覽會

乗客の悦ぶ

新フオード タクシーキャブ

新フオード タクシーキャブは左の色々な特徴を具へて居りますから乗客は非常に悦びます。従つて此車をタクシーに御使用になれば、充分の利益を擧げることが出来ます。

二、安全な點
三、車室の廣潤な點
四、外觀の見事な點
五、乗心地の良い點

新フォード タクシーキャブ
定 價 金 參 千 五 百 參 拾 圓 也
(京 城 西)

A black and white illustration of a vintage automobile, likely a Ford Model T, parked on a street. Several people are gathered around the car: a man in a suit stands by the open driver's side door, another man in a suit stands behind him, and a woman in a long dress stands near the front. In the background, other figures are visible, including a child and a woman. The car has a prominent front grille, large headlights, and a spare tire mounted on the side. The illustration is in a classic, detailed style.

横濱 日本フォード自動車株式會社 平安

明治チヨコレイト

菊正宗

フヤコール
ブルトーゼ

諸結核性疾患の豫防治癒に
ブルトーゼの増血とグアマコー
ルの解熱殺菌兩様の作用を併合
せしめて、脂効果と顯著ならしむ

[illegible][illegible][illegible][illegible]

近來司直の手に振興

304

[illegible]

多田毅三

讀書ページ

松浦生

[illegible]

南洋年鑑

幻術の世界、
 神秘的サモエド半島のリュム
 まで、一行から一行と鳴ったが
 た、一行だけ
 知千歳さん
 冒険が好き老若に益々若き陣人
 日の精に成るにせよ氏は
 日、米も米もどきき情で仕
 事、つづけて、
 このご器機、自然子にさ
 された判様は
 金銀出入保書明通
 金銀出入保書明通

蘭領印度の六篇、別に附録を収め、各篇本文は、地誌、

[illegible]

以便爲電信料金一覽、邦人

「吾家」を讀む
松田牧之助

大町桂月翁の思ひ出

新書 推薦

講談全集 (十巻) 開成千

で状況を考慮したのと西中

[illegible]

心悸亢進症等に卓效あるのみな

胃腸科 北島啓

京統本町四丁目百五十五番地 電話不

動脈硬化症性肺病、結核、肺水腫、
肺防等に藥效迅速的確な
本品は無味無臭、服用容易、
持長服する事も副作用なく、習慣
性をもたず事なし。

加之睡眠は極めて自然的に
して、覺醒後は何等の不快作
用なく爽快なり。

明治(一五)年金賞圖録
1000(一五)年金四拾二錢

新薬出店(一五)年金四拾二錢
説明書並送

バイエルモリステルチウス
藥品合名會社
神戸南郵便私取局一〇七番

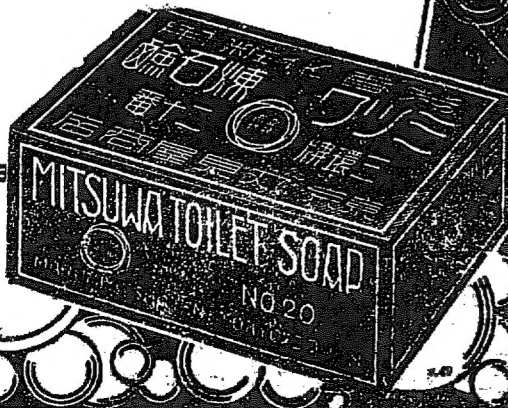
被乙バエル製

どつちへ行かうと
赤玉ポトウインナー
放さねば
それが
健康への道に
遠ひは
ない

984

○三ツ煉石鹵

優秀
○ミシワ石鹼
大量生産の副産物で、價がお廉くて
使心地の宜い、理想的の化粧石鹼です



運命の浪

【112】
多田殿三郎

「それ行つて路(四)」
 眞事だ、然し(五)……
 彼は情慾とあるまじく、口吐
 らないで、はたらけなかつた。久保
 久保が、今(六)……やめて来た時
 だ、おけに、彼方から、お水をかけた
 湯がつた。
 「久保さん、あなたの家らし
 いもの、を、と、持つてゐますし、
 即ち、お水は、つと、出てゐる、かへ、
 その心を、み、と、久保を、呼、
 かけた、理、は、彼、と、同、じ、の、取、
 組、の、計、算、を、お、か、つ、八、方、金、
 の、銀、行、を、お、か、る、べ、く、恥、あ、ら、
 へ、る、と、思、つ、た、久、保、用、た、
 「さ、久保さんか」
 「い、な、あ、あ、あ、あ、止、め、な、
 久保、も、の、ま、と、並、つ、て、
 一、時、間、で、し、た、ご、同、じ、の、結、核、は、
 心……、彼、久、保、久、保、の、心、の、内、は、
 割、れ、行、く、路、の、や、う、に、心、細、く、
 割、れ、行、く、路、の、や、う、に、心、細、く、
 その、内、に、入、は、
 そ、に、ベ、ン、が、一、つ、あ、つ、て、同、じ、
 が、や、ま、り、と、つ、
 つ、て、思、ふ、さ、へ、來、た、に、思、
 が、つ、た、久、保、久、保、も、つ、
 いて、乾、き、晴、し、
 「順、の、私、私、と、つ、た、と、ろ、で、い、
 ら、ない、い、ま、の、場、合、な、な、も、
 を、お、け、だ、し、た、こ、ろ、で、
 水、を、割、だ、た、
 「水、は、整、理、さ、す、で、す、然、し、さ、
 で、な、さ、ら、な、つ、た、日、に、や、
 順、の、情、を、取、と、け、に、な、
 「さ、か、り、な、つ、た、ら、同、解、も、た、
 も、ら、ん、よ」

[illegible]

演藝案内

東亞俱樂部
 大衆本位のベスト・プレイヤー
 シネマ・ラッシュ・イズ・ヒズ・ネーム
 光岡三郎 小坂啓子 伴淳三郎
 大岡政武
 越後傳吉

計國百年後
刑でかゝる間三
の傳事れを浦和
名の吉ひ中増ら
列露はの村ろ江
官と人申じ米戸
大増殺心おし扱
関えしに仙てかた
越なの女に區ら
前ん、閉り救ふ時
の利に惡はの頭吉
守房に預け途には
へおはる等無に苦
へ續りての三漢り
へ、の機違百に三十

山に無風の静と響けるお仙と玄翁
 になる。ウエスタソン映畫
 にもヤルスのバッチソン主演
 月日伯休の娘、行方不明
 偵探アリスを金庫の盗人
 伯休は拳銃を金庫の盗人
 探して金庫の盗人を捕ま
 せる。金庫の盗人は、金庫
 の鍵を金庫の盗人に渡す。

現代 人生行路

[illegible]

中央館

多田 八郎
 吉田 二郎
 吉田 一郎
 吉田 三郎
 吉田 四郎
 吉田 五郎
 吉田 六郎
 吉田 七郎
 吉田 八郎
 吉田 九郎
 吉田 十郎
 吉田 十一郎
 吉田 十二郎
 吉田 十三郎
 吉田 十四郎
 吉田 十五郎
 吉田 十六郎
 吉田 十七郎
 吉田 十八郎
 吉田 十九郎
 吉田 二十郎
 吉田 二十一郎
 吉田 二十二郎
 吉田 二十三郎
 吉田 二十四郎
 吉田 二十五郎
 吉田 二十六郎
 吉田 二十七郎
 吉田 二十八郎
 吉田 二十九郎
 吉田 三十郎
 吉田 三十一郎
 吉田 三十二郎
 吉田 三十三郎
 吉田 三十四郎
 吉田 三十五郎
 吉田 三十六郎
 吉田 三十七郎
 吉田 三十八郎
 吉田 三十九郎
 吉田 四十郎
 吉田 四十一郎
 吉田 四十二郎
 吉田 四十三郎
 吉田 四十四郎
 吉田 四十五郎
 吉田 四十六郎
 吉田 四十七郎
 吉田 四十八郎
 吉田 四十九郎
 吉田 五十郎
 吉田 五十一郎
 吉田 五十二郎
 吉田 五十三郎
 吉田 五十四郎
 吉田 五十五郎
 吉田 五十六郎
 吉田 五十七郎
 吉田 五十八郎
 吉田 五十九郎
 吉田 六十郎
 吉田 六十一郎
 吉田 六十二郎
 吉田 六十三郎
 吉田 六十四郎
 吉田 六十五郎
 吉田 六十六郎
 吉田 六十七郎
 吉田 六十八郎
 吉田 六十九郎
 吉田 七十郎
 吉田 七十一郎
 吉田 七十二郎
 吉田 七十三郎
 吉田 七十四郎
 吉田 七十五郎
 吉田 七十六郎
 吉田 七十七郎
 吉田 七十八郎
 吉田 七十九郎
 吉田 八十郎
 吉田 八十一郎
 吉田 八十二郎
 吉田 八十三郎
 吉田 八十四郎
 吉田 八十五郎
 吉田 八十六郎
 吉田 八十七郎
 吉田 八十八郎
 吉田 八十九郎
 吉田 九十郎
 吉田 九十一郎
 吉田 九十二郎
 吉田 九十三郎
 吉田 九十四郎
 吉田 九十五郎
 吉田 九十六郎
 吉田 九十七郎
 吉田 九十八郎
 吉田 九十九郎
 吉田 一百郎

原案 脚本 監修
 作 色 監 齋
 フレデリック・ハットン氏
 エフ・ヒュー・ハリー
 ロバート・Z・レオナルド氏
 ノーマ・シエラー氏
 マーヤ・映畫
 娘辯護士 全七巻
 マトロ・ゴールドウイン

主 流 コソラツド・ネーゲル氏
キノ御室スタヂオ時代圖書
種本七の補作品
怪 怪 怪 生れ損ひ一改題
指 揮 マキノ省三
原 作 監 修 明本七の補

主演者 谷崎十郎 市川崑
助演者 荒島武英 桂 武男
外マキノ・オルスト・キヤスト
ある嵐の夜 笑如編 狂の正兵衛
伊豆の門 防犯者 古坂を襲き

その緒を狂くだけて
を盛るに背かた程
りテさ其の癖金
作ふためた帝と娘
ころひ行くにもを
魂のくはる強
ひつゝのめ酷
あき……映は著し
へぎやうい、皆た
からせぬ古罪
ほなこれ疵を
魅まき上む

大正館

九龍の砂小竹
 所脚を中の津南特
 の味に道安田
 其の妙從二利
 園存無刻を印金
 大寸藝ん許監大
 通るに人さ作現
 品處奇情の作下
 竹しを語りし東
 竹狂得の苦心
 手

[illegible]

人氣男 全巻
中根 隆太郎 著 水瀬 子 若月 孔蜜 主 編
原作 新井 隆子 監修 齊藤 次郎
おんなき 人たちの心 魂を語る 新日本

記念一等賞 演脚木枝重信
明け行く空 七巻
有映器でまて同時に映映
とあることは今日まで許され
とであつたがこの一巻はこれら
を離せる竹キネマ官任開作

五郎光子 川田孝子 主演
 明治町 浪花館
 九月一日より
 大島崎 二人會
 三番目 小金井 伯

新藥



頭痛

清腦新劑

チ
工
ヤ
!

ボーヤが頭痛で寝ていたウ
一羽の雀が飛んで来て
「頭痛目眩はまだあうか
神經衰弱ヒステリーも
すぐ治して上げませう」と
靈藥チエヤーを呉れました

たゞ若きも常用より

頭腦明晰
精力絕倫
頭痛即治

各地有名藥店均有代售



社會譯合
南陽楠内松
庫大

本報外は本紙に再録し
ません

晴々しく

吾等の總督着任

京城驛の出迎へ千五百余名

沿道の歡迎無慮二萬

齊藤總督夫妻は八日午後七時無事京城驛着任。同七時五十分差廻しの自動車に打乗り、嚴重なる沿道警戒の中を同七時二十五分後城臺の總督官邸に入り二ヶ年振りに懐しい官邸の主となつた。此日京城驛は一千五百餘名の出迎へがあり京城驛始まつて以來の盛觀を呈した。

童顔に笑を湛へ 旅の疲れもなく

出迎人に一々挨拶

總督京城驛に着く



京城驛に着いた總督夫妻

（裏面へ續く）

なつかしの 官邸に入る。

時に七時二十五分

暮れの秋空に三月かゝる

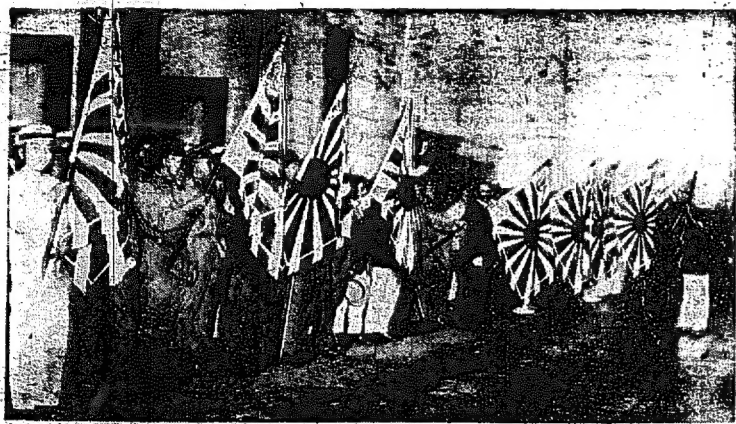
七時は過ぎ、秋の夕暮に、官邸の門は静かに閉ざされた。その門を、七時二十五分に、皇太子殿下と皇后陛下が、お出ましになった。その光景は、多くの人々の心を、深く打撃した。皇太子殿下は、お出ましになった。その光景は、多くの人々の心を、深く打撃した。皇太子殿下は、お出ましになった。その光景は、多くの人々の心を、深く打撃した。

懐しの官邸で

安らかの初夜

かくてわれ等の総督
も全くこゝに落着く

七時二十五分、皇太子殿下と皇后陛下が、官邸に入られた。その光景は、多くの人々の心を、深く打撃した。皇太子殿下は、お出ましになった。その光景は、多くの人々の心を、深く打撃した。皇太子殿下は、お出ましになった。その光景は、多くの人々の心を、深く打撃した。



曙前に整列した在郷軍人
團の歓迎